

2025年放課後等デイサービスこども元気塾東海教室に関するアンケート（職員） 結果について

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	改善について
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
	②	職員の配置数は適切であるか	60%	40%			状況にあった利用人数に調整し安全に過ごせる環境を作っていく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が利用児童の状態にあっているか	80%	20%			段差がある場所などに蛍光テープを貼り、注意を促していく
業務改善	④	業務改善を進めるための支援目標の設定と振り返りに、職員が参画しているか	100%				
	⑤	事業所評価表のアンケートを保護者様に実施し、意向等を把握し改善に努めているか	100%				
	⑥	自己評価表の結果を事業所のホームページ等で公開しているか	60%	40%			ホームページの案内をしていく
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				
適切な	⑧	アセスメントを行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%			職員間で情報を共有し現在の支援計画の振り返りを行っていく
	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				
	⑩	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				
	⑪	学校がある日、学校休業日等に応じて、活動プログラムを考えているか	100%				
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				

支援の提供	⑬	支援開始前には職員間で打合せを行い、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				
	⑭	支援終了後に職員間で打合せを行い、振り返りを行っているか	100%				
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の改善につなげているか	100%				
	⑯	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性について判断しているか	80%	20%			モニタリングの日程を早めに設定し期間が過ぎないようにしていく
	⑰	支援の5領域に取り入れた支援計画を作成しているか	80%	20%			
関係機関や保護者との連携	⑱	サービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				
	⑲	学校との情報共有（年間行事、下校時刻等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時等）を適切に行っているか	80%	20%			
	⑳	複数事業所に通所している子どもについて、事業所間で情報共有を行い支援の改善につなげているか	40%	60%			施設見学など交流の機会を作り他事業所と情報を共有し支援の幅を広げていく
	㉑	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、研修や助言等を受けているか	60%	40%			
	㉒	公園や公共の施設を使用し、事業所内だけでなく外部との関りを持てるようにしているか	100%				
	㉓	市内のこども部会や基幹相談支援センター等が開催する研修会に参加しているか	80%	20%			
	㉔	日頃から子どもとの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100%				

保護者への説明責任等	②⑤	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%			利用者負担について勉強会を実施し理解を深めていく
	②⑥	保護者からの子育ての悩み等に関する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%			
	②⑦	保護者学習会や見学会等、保護者同士が顔を合わせる機会の提供に努めているか	100%				
	②⑧	子どもや保護者からの苦情について、対応の整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				
	②⑨	個人情報に十分注意しているか	100%				
	③⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	40%	60%			イベントを定期的に行い地域との交流の場を設けていく
非常時等の対応	③①	緊急時対応マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	100%				
	③②	定期的に避難訓練を実施し、子ども達の安全の確保に努めているか	80%	20%			担当を決め定期的に計画していく
	③③	虐待防止のために、定期的に研修を行っているか	100%				
	③④	身体拘束について該当の保護者や子どもに対して事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%			身体拘束について勉強会を実施し理解を深めていく
	③⑤	食物アレルギーのある子どもについて、職員間で情報を共有し事故等が発生しないよう対策を行っているか	100%				
	③⑥	ヒヤリハットが発生した場合には、報告書を記入し回覧やミーティング等で職員が共通理解を図っているか	80%	20%			職員間で一日を振り返る時間を作り情報を共有していく